

平成11年度冬作(麦類・いぐさ・水稻刈跡) 関係除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成11年度冬作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成12年9月12日(金)、植調会館3階会議室において開催された。

本年度供試された冬作関係除草剤は、作用性試験8剤、

適用性試験13剤で、生育調節剤はなかった。

このうち適用性試験については、慎重に試験成績を検討し、実用化についての判定を行った。

その結果は、次表のとおりである。

平成11年度 冬作関係除草剤・生育調節剤中央判定および使用基準

A. 除草剤

I. 小 麦

薬 剤 名	中央判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
1. DBN ・DBN	粒 実・継 1% (従来 通り)	一年生 雑草全 般	土壌	麦2～3葉期 (スズメノテッポウ 1.5Lまで)	500～600g	壤土～ 埴土(但 し暖地 は埴土 のみ)	寒冷地 南部以 西	1) 碎土、整地、覆 土をていねいに行 って均一に散布す る。 2) イネ科雑草優 占圃場で使用する 。	・カクノコガサに 対する処理時 期と効果の確 認
3. F-8426 顆粒水和 ・カルフェントラゾニエチル 40%	実・継	ヤムカウ	茎葉	ヤムカウ2～4 節期	0.3～0.5g 散布水量 10L	全土壌 (砂土を 除く)	温暖地 以西	1) ヤムカウ以外の 雑草に有効な除 草剤との組合せ で使用する。 2) 展着剤を加用 しない。	・適用草種の 拡大 ・薬害発生要 因の解明
7. MON-96A 液 ・グリホサートアンモニウム 塩 41%	実・継	雑草全 般(シバム ギ等)	茎葉	耕起10日以 前 雑草生育期	50mL 散布水量 10L	全土壌	寒地	1) 少水量散布の 場合は専用ノズ ルを使用する。 2) 周辺作物に飛 散しないように 注意する。 3) 展着剤を加用 しない。	・寒地におけ る多年生雑草 に対する処理 時期と効果の 確認
		一年生 雑草全 般			25mL 散布水量 2.5～5L		寒冷地 以西		
8. MRS-195 液 ・グリホサートイソプロピ ルアミン塩 41%	継								・効果、薬害 の確認

I. 小 麦 つづき

薬 剤 名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
9. NH-501 プロアブル ・ピラフルフェニル 0.19% ・グリホサートトリメシウム 塩 28.5%	継								・効果、薬害 の確認
10. RSH-44L 粒 ・ジフルフェニカン 0.15% ・トリフルラリン 2%	実・継	一年生 雑草全 般	土壌	播種後 小麦1～2葉 期（雑草発 生始期）	400～600g 400～500g	全土壌 （砂土を 除く）	寒冷地 以西 寒冷地、 温暖地 東部	1) 碎土、整地、覆 土をていねいに行 って均一に散布す る。 2) 一過性の白斑 を生じることがあ る。 3) 雑草の発生が 早い場合は早め に処理をする。	・地域拡大 ・生育初期処 理での効果の 変動要因の解 明

II. 大 麦

薬 剤 名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
1. MON-96A 液 ・グリホサートアモンニウム 塩 41%	実 (前年 通り)	一年生 雑草全 般	茎葉	耕起10日以前 雑草生育期	25～50mL 散布水量 2.5～10L	全土壌	寒冷地 以西	1) 少水量散布の 場合は専用ノズ ルを使用する。 2) 周辺作物にか からないように 注意する。 3) 展着剤を加用 しない。	
2. NC-362 水和 ・ジフルフェニカン 4% ・IPC 30%	継								・処理時期と 効果、薬害の 検討
3. RSH-44L 粒 ・ジフルフェニカン 0.15% ・トリフルラリン 2%	実・継	一年生 雑草全 般	土壌	播種後 大麦1～2葉 期（雑草発 生始期）	400～600g 400～500g	全土壌 （砂土を 除く）	寒冷地 以西 寒冷地、 温暖地 東部	1) 碎土、整地、覆 土をていねいに行 って均一に散布す る。 2) 一過性の白斑 を生じることがあ る。 3) 雑草の発生が 早い場合は早め に処理をする。	・生育初期処 理の地域拡大 ・生育初期処 理での効果の 変動要因の解 明

Ⅱ. 大 麦 つづき

薬 剤 名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
4. WOC-01 液 ・グリホサートイソPロビ° ルアミン塩 41%	実 (前年 通り)	一年生 雑草全 般	茎葉	耕起10日以前 雑草生育期	25～50mL 散布水量 10L	全土壌	寒冷地 以西	1) 周辺作物にか からないように 注意する。 2) 展着剤を加用 しない。	

Ⅲ. い ぐ さ

薬 剤 名	中央 判定	使 用 基 準							継続の内容
		対象 雑草	処理法	処理時期	使用量 製品/a	適用 土壌	適用 地帯	使用上の注意	
1. DPX-16L 細粒 ・チフェスルフロメチル 0.15%	継								・効果、薬害 の確認
2. KPP-2005 ジャンボ ・クミロン 15% ・ベントキサザン 4.5%	継								・効果、薬害 の確認
3. SL-498-1kg 粒 ・ビラジキシフェン 18% ・ブレチアクロール 4.5% ・シメトリン 1.5%	実・継	一年生 雑草全 般	土壌 (湛水)	植付後～ス ズメノテッポウ 3L(11月～1 月) 雑草発生始 期～ハビエ 1.5葉期 (4月上～中 旬)	100g	埴壤土～ 埴土	暖地	1) 他剤との組合 せで使用する。	・処理時期と 効果、薬害の 確認

財団法人 日本植物調節剤研究協会
東京都台東区台東1丁目26番6号
電話 東京(03)3832-4188 (代)

編集人 日本植物調節剤研究協会 会長 小 林 仁
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所 広 田 伸 七

平成12年11月発行
植調第34巻第8号

定価420円(送料270円)
(本体400円, 消費税20円)

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会
発行人 植 調 編 集 印 刷 事 務 所
電話 東京(03)3833-1821番(代)
印刷所 新 成 印 刷 (有)